

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 当院における急性期静脈血栓塞栓症に対する抗凝固薬投与の有効性および安全性の検討』

【研究の背景および目的】

静脈血栓塞栓症の急性期治療薬として合成Xa因子阻害薬が使用されています。合成Xa因子阻害薬の効果は欧米では報告があるものの、本国では十分に研究されていません。さらに、静脈血栓塞栓症発症リスクの一つである担癌患者さんでの効果についても十分な報告がありません。

そこで、東邦大学医療センター大森病院循環器内科では、本国での担癌患者さん・非担癌患者さんにおける静脈血栓塞栓症に対する合成Xa因子阻害薬の効果・安全性を検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、担癌患者さんを含む本国での急性期静脈血栓塞栓症のより効果的で安全な治療につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2012年～2017年までに東邦大学医療センター大森病院循環器内科において、静脈血栓塞栓症に対して合成Xa因子阻害薬の治療を受けた症例を対象として、治療期間中に行った血液検査や画像検査の結果、電子カルテ記録から抽出した経過を解析することにより、治療効果と安全性を調査します。

本研究に関わる研究経費は、講座研究費で行われます。なお当講座教授である池田隆徳氏には利益相反が存在しますが、利益相反のない複数の共同研究者にてデータの収集および解析を行っているため、利益相反状態は回避されております

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究は患者様への侵襲や治療介入ではなく、診療情報のみを用いて行っているため対象となる患者様から直接の同意を得ておりませんが、研究の実施について情報の公開と、拒否の機会が保証されております。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や検査結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

循環器内科

職位・氏名 レジデント 山下 麻美

電話 03-3762-4151 内線 6545